

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2024年7月29日

(宛先)
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)
三重県伊賀市佐那具町1626番地

氏名(法人にあつては、名称および代表者の氏名)
株式会社ミヤケ
代表取締役社長 三宅 良平

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項 → 第25条第4項
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項 の規定に基づき、
事業者行動計画を 策定 (変更)
事業者行動報告書を作成
したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあつては、名称および代表者の氏名)	株式会社ミヤケ 代表取締役社長 三宅 良平
事業者の住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)	三重県伊賀市佐那具町1626番地

1 事業所の概要

事業所の名称	株式会社ミヤケ 滋賀工場					
事業所の所在地	滋賀県甲賀市水口町新城525番地					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	3	1	1	3	※ 産業分類・細分類名称を記載 自動車部分品・附属品製造業
事業の概要	ベアリングレースの製造					
従業員の数	146	人	作業時間	24	時間/日	
該当する事業者 の要件	☒ 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者					
	☐ 従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	☐ 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	台	熱源設備	11	台	照明設備 300 台
	コンプレッサ	14	台	空気調和設備	32	台 その他

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始 年度	令和3	年度	報告対象年度	令和5	年度
	終了 年度	令和5	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

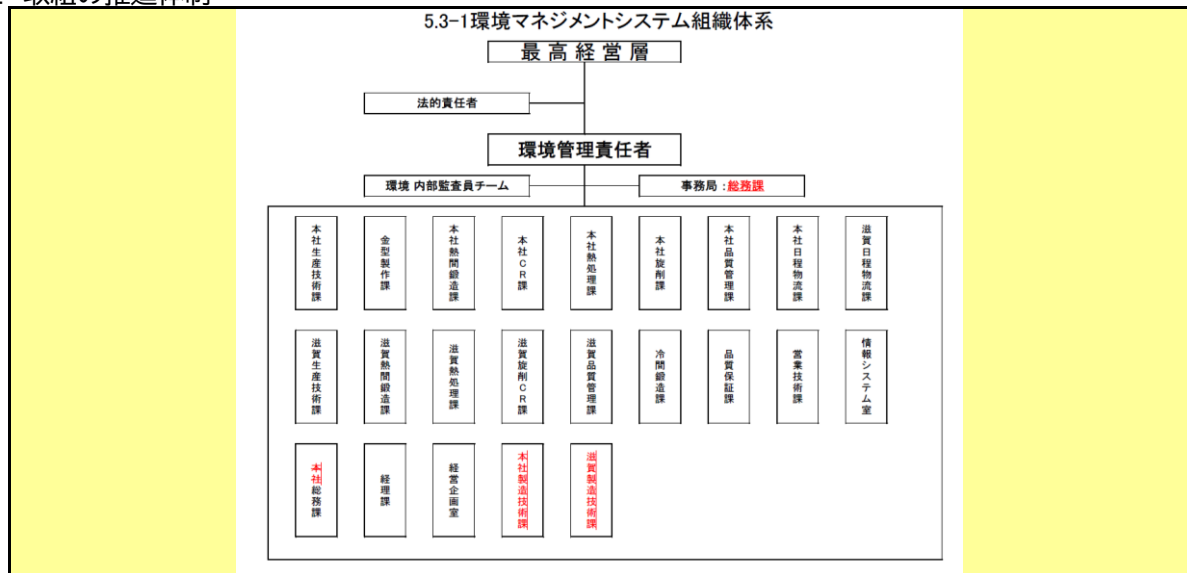
注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

株式会社ミヤケは輸送、自動車部品等の鍛造製品を製造するに当たり環境マネジメントの活動を通じて、変化に対応できる強い企業体質を目指すとともに、人々の健康と豊かな社会の実現のために地球環境保全に幅広く、自主的かつ積極的に取り組む。

- (1) 事業活動及び当社の製品が環境に与える影響を確実に把握し、当社にふさわしい以下の環境マネジメントの活動を実施する。
 - ① 省資源・省エネルギー
 - ② CO₂の削減
 - ③ 産業廃棄物の削減
- (2) 環境目的及び目標を設定し、環境会議により毎年見直しを行うとともに環境マネジメントシステムを継続的に改善し、汚染の予防に努める。
- (3) 環境に関する法規制、当社が同意したその他の要求事項を遵守する。
- (4) 環境教育・社内広報活動を実施し、全従業員の環境方針の理解と環境に関する意識向上を図るとともに、仕入先へ環境方針を周知させ、理解と協力を要請する。
- (5) 顧客・関係諸官庁・地域住民等の利害関係者とのコミュニケーションを図り、環境改善に取り組む。又、環境保全活動の実施状況を必要に応じ公開する。

2 取組の推進体制

3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

ISO14001を認証取得している事もあり、CO₂排出量削減取組に関しては本社工場(所在地:三重県)、滋賀工場問わず計画的に取り組んでおります。

可動率の向上による電力削減
 CA炉サイクルタイム短縮横展開
 廃却品の削減
 不良品削減

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	運用改善	材料歩留まり削減によるエネルギー改善	令和4年度～	継続実施中
2	運用改善	コンプレッサーエア漏れ改善によるエネルギー改善	令和4年度～	継続実施中
3	運用改善	設備可動率向上によるエネルギー改善	令和4年度～	継続実施中
4	設備導入	工場照明のLED化	令和4年度～	LED照明へ更新完了
5				

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方		目標の進捗に対する自己評価
上記取組み等により以下の原単位を利用し毎年原単位1%の改善を行う		【令和5年度】 エネルギー使用料は減少傾向にあるが電力会社の排出係数が上昇したことに伴いCO2排出量は増加した。
原単位「	エネルギー使用量(原油換算kl)	
	売上金額」	

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

		計画開始年度前年度の実績	実績報告				
			(R3)年度	(R4)年度	(R5)年度	(R6)年度	(R7)年度
原油換算エネルギー使用量	kL	6,512	8,227	6,931	6,125		
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	11,559	15,456	10,828	10,532		
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	11,559	15,456	10,828	10,532		
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂						
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移							

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	太陽光発電導入	未定	検討中
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	太陽光発電導入
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(R3)年度	(R4)年度	(R5)年度	(R6)年度	(R7)年度
再エネ電気設備での発電量	kWh	0	0	0			
上記のうち自家消費量	kWh	0	0	0			